

鎌倉版 掲載号:2011年11月4日号

第二回鎌倉アート・クラフト市を開催するアトリエ・ラ・プリマヴェーラ主宰

河合 りえ子さん

小町在住



動いて変わって今がある

○…4月下旬に開催し、全収益を東日本大震災被災地に寄付をした「鎌倉アート・クラフト市」の主催者。第二回を11月26日(土)と27日(日)に、前回と同じ鶴ヶ岡会館ロビーで開催する。普段は陶磁器絵付けの「アトリエ・ラ・プリマヴェーラ」を主宰している。「”支援”という言葉は上から目線のように、抵抗がある」とし、今日の取り組みを、「援助する側とされる側の間に生まれるエネルギーの交流」と感じている。「1回で終わらせずに継続することが大切」と思いを語る。

○…未曾有の大震災直後、はやる気持ちはあったが、何をしたいのかがわからない。そんな時、たまたま震災の復興活動を行う団体「め組ジャパン」が掲げるキャッチフレーズを目にした。「動けば変わる」。心が動いた。しかし、自分にはボランティア経験も少なく、スキルも乏しい。知人に声をかけ物資を集め、現地で本当に必要なものを届けることから始めた。

○…「一人で活動するよりもみんなでできることを」そう考えたときにバザーを思いつき、すぐさま会場探しを始めた。思いに共感し、協力してくれた個人、団体は約70に。「みんな何かをできる場所を探していたんだ」と感じ、「今の自分をありのままに受け止めて、伝えたいことは遠慮せずに伝えてもいいんだな」と気付いた。

○…大学卒業後、仕事をしながら、母語とする国が多いスペイン語を勉強。その後、親や周囲の反対を押し切り、スペインへ。「行くからには半端に日本へ戻りたくない」と、約2年間滞在。「思い切ってスペインに行ったことは大きな財産になりました」と振り返る。穏やかな口調とは裏腹に、何かをやりたいと思ったらすぐには行動しないと気がすまない性格。「ほかの人よりもものごとに対する『体温』が高いのかもしれませんが」とはにかむ。多忙な日々を送るが、「好きなことをしているので、息抜きは常にしています」ときっぱり。